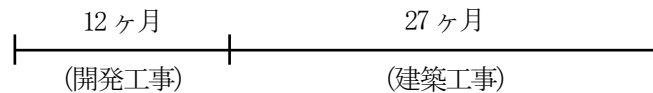


(仮称) 江坂計画 埋蔵文化財調査について

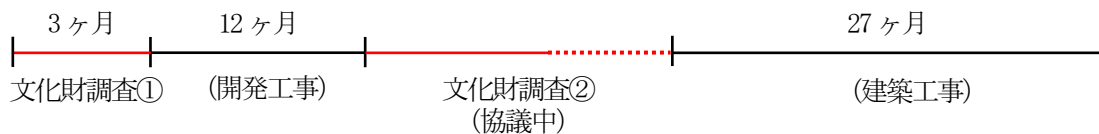
令和5年5月～6月に実施した試掘調査の結果に基づき、本掘調査について吹田市文化財保護課と協議中である。

現在、開発工事にかかる文化財調査を実施する計画(案)が策定され、調査実施に向け促進中である。また、その他の区域については協議中であるため、内容、期間については未定である。

(評価書案工事工程)



(文化財調査及び工事工程 (想定))



文化財調査① (吹田市作成の確認調査計画書(案)より)

【調査方針】

- ・調査範囲は、開発道路内に設置予定の下水管及び人孔部分について実施する。
- ・調査対象面積は全体で 816.25 m² と想定する。調査区はまず矢板設置箇所 3 か所 (72.0 m²) について順次実施し、続いて矢板非設置部分 (744.25 m²) について実施する。
- ・地表面下約 3m 付近までは機械掘削を行い、遺構面検出及び遺構内埋土・遺物包含層等の掘削は人力で行う。(機械掘削土層厚は約 3.0m と想定する。)
- ・掘削土は場内に仮置きして調査を行う。
- ・土量は、前回実施した確認調査及び下水設備設置計画等で得られた情報を基に作成した想定値である。
- ・調査に当たり、主に掘削を行う作業員とは別に、発掘調査を技術的に指導できる調査員(監督者)、測量等を行う調査補助員、バックホーのオペレーターを要する。
- ・調査期間後に、トータルステーションによる測量結果を図面として完成させる期間が必要になる。
- ・仮囲い、土留め、コンテナハウス、仮設トイレ等の設置及び撤去は調査期間に含まない。
- ・本体建築部分等の調査等については別途協議する。

【調査面積・土量】

- ・調査面積 約 816.25 m²
- ・機械掘削土量 約 1,137.38 m³
- ・機械及び人力掘削土量 108.0 m³ [矢板設置箇所 108.0 m³ (36.0 m³ × 3 か所)]
- ・人力掘削土量 約 164.21 m³

文化財調査②

その他の区域についても文化財調査終了後に工事に着手することとし、現在、協議継続中である調査内容、範囲が決まり、調査期間等を含め計画が策定でき次第、事後報告する。